

○ 委員長報告

9月定例会本会議で報告された建設委員長報告は、以下のとおりです。

令和4年9月定例会

建設委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、肱川水系緊急治水対策推進事業の進捗状況についてであります。

このことについて一部の委員から、本事業で実施している対策のうち、激特事業の進捗状況はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、肱川の激特事業については、国と連携して令和5年度の事業完了を目指している。

現在、県事業における堤防整備に不可欠な用地取得率は約97%で、肱川本川11工区と支川久米川を合わせた全12工区のうち11工区で工事に着手しており、肱川本川11工区については堤防の約43%が完成、支川久米川ではコンクリートによる堤防嵩上げを進めている。

また、国事業では、全14工区の全てで工事に着手しており、堤防の約44%が完成している旨の答弁がありました。

第2点は、砂防関係事業についてであります。

このことについて一部の委員から、砂防施設防災・減災対策事業及び集落・避難路保全斜面地震対策事業の内容はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、砂防施設防災・減災対策事業は、砂防施設の本来の機能を最大限発揮させるため、老朽化した施設の修繕など機能の維持や回復等を図る必要がある砂防施設のうち、緊急的に対策が必要な箇所における砂防えん堤の除石、溪流保全工の整備、ストーンガードの更新等に、48箇所を計上している。

また、集落・避難路保全斜面地震対策事業は、市町が行うがけ崩れ防災対策事業へ補助するもので、地震等によるがけ崩れから人家を保全するため、災害履歴がある箇所や避難路等が被災するおそれがある箇所のうち、市町から要望のあった全14箇所を計上している旨の答弁がありました。

第3点は、南レク都市公園の利用状況と今後の取組みについてであります。

このことについて一部の委員から、南レク都市公園の利用状況と「えひめ宇宙フェス in なんよ」の開催結果はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、コロナ禍で落ち込んでいた利用者数は、今年度は大型連休や夏休み期間に通常通り営業できたことなどから、回復傾向にある。

また、宇宙フェスは、当公園が気球実験の適地であるとの専門家の意見を踏まえ、南レクの新しい利用方法の一つとして、9月20日から25日まで開催し、全国の大学生等が参加する「成層圏気球実験」や「気球甲子園」のほか、小中学生等を対象にした「えひめ宇宙祭」の実施により、期間中の参加者が約千人に上るなど好評を博した。

今後は、きずな博と連携して、認知度向上を図るほか、コロナ禍で注目される野外イベントの実施等により利用促進に努めていきたい旨の答弁がありました。

このほか、

- ・河床掘削の実施状況
- ・とべ動物園の魅力向上に向けた取組み
- ・土木部のDXの取組み

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。